

令和4年度 遠野市立宮守小学校 働き方改革アクションプラン

遠野市立宮守小学校では、「遠野市立学校教職員働き方改革プラン」に基づき、以下の取組により学校における働き方改革を推進します。

現状

- ◆ 昨年度は時間外在校等時間年360時間以上が2人いた。平均は、256.5時間であった。



目指す姿

- ◆ 教職員が自分自身で労働時間を把握し、多忙・負担軽減対策等に取り組んでいる。
- ◆ 管理職が、タイムレコーダーにより記録している毎月の時間外在校等時間の状況を把握し、要因分析をし、業務内容の見直しを行っている。

働き方改革の重点取組

取組① 時間外在校時間の削減

- ◆ タイムレコーダーで記録した毎月の時間外在校等時間の状況を職員会議で知らせることにより、自分自身の労働時間を把握し、自覚することにより、時間外在校時間の削減に努める。

取組② 定時退庁の推進

- ◆ 毎月職員会議後に行われる労働衛生委員会の場において、定時退庁の日を月に2回設定し、定時退庁の推進に努める。

取組③ 校務分掌・行事の見直しの実施

- ◆ 校務分掌の見直しや行事の持ち方を見直し、業務のスリム化を図る。

具体的成果目標	関係する重点取組
目標① 時間外在校等時間の月45時間以上を0人にする	①、③
目標② 教職員全員が月に1回以上定時退庁をする	②
目標③ 時間外在校等時間の年360時間以上を0人にする	①、②、③